

平成20年度 総合的な学習部 研究活動のまとめ

南丹・船井小学校教育研究会

<p>《研究主題》</p> <p>育てたい力を明確にした探究的学習の創造 ～教科・領域との関連を意識した指導計画の作成～</p> <p>【重点課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 育てたい力の明確化 ・ 関連する教科内容との関係の整理 ・ 総合的な学習の時間に係るガイドラインの活用
--

第 一 回	日時	平成20年 7月 2日 (水) 13:40～16:30
	会場	南丹市立新庄小学校
	研究の概要	<p>(1) 授業研究会 第6学年 「新庄の弥生時代探検」</p> <p>(2) 実践講話 「総合的な学習の取組」 福知山市立上六人部小学校 (京都府小学校教育研究会 総合的な学習部 専門研究員)</p>
第 二 回	日時	平成20年10月 8日 (水) 13:40～16:30
	会場	京丹波町立三ノ宮小学校
	研究の概要	<p>(1) 授業研究会 第4学年 「見えないってどんなこと」</p> <p>(2) 実践発表 「木のひみつを探れ 宮島もくもく調査隊」(取組の経過) 南丹市立宮島小学校</p> <p>(3) 新学習指導要領 総合的な学習の時間について研修</p>

<p>本年度の研究で明らかになった内容</p>	<p>○ 成 果</p> <p>(1) 研究授業から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験学習を課題追究につなげる工夫について実践研究を深めることができた。 ・地域の特色を生かした単元指導計画の作成について研修を深めることができた。 ・福祉、環境、国際理解など現代社会における生活上の諸課題について自分の課題として受け止め、日々の生活の中で自己の生き方とのかかわりで考え続け、よりよい解決を図ることが大切であることを認識できた。 ・児童の主体的な学びの姿を交流することができた。 <p>(2) 実践発表から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校で育てたい力を明確にし、それをもとに全体構想を立てることを学んだ。 ・地域の特色を生かした学習計画の工夫により、児童の関心や学習意欲を高められることを認識できた。 <p>(3) 新学習指導要領 総合的な学習の時間について研修から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状の総合的な学習の時間の課題、総合的な学習の時間の重要性、指導計画の作成にあたっての配慮事項9項目、内容の取扱についての配慮事項8項目について指導要領解説をもとに研修した。また、総則から特別活動や外国語活動とのかかわりについても研修した。 <p>○ 課 題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習単元を設定するに当たっては、児童のすがたを目の前にしてその場面を想定して構想を練ることが大切である。 ・地域の特色を生かした指導計画を立てるとき、地域の人的ネットワークを活用できるように、地域の方々とのつながりを大切にしていきたい。
<p>来年度への研究課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間の目標が新たに設定され、総合的な学習の時間では、探究を中心的課題に設定することが求められている。。また、各学校において創意工夫を生かした特色ある教育活動をより充実させることが必要となってくる。これらを踏まえた研究を深めていかななくてはならない。 ・授業時数が変わっていくことに合わせて、単元指導計画を適切に作成していかなければならない。 ・全体計画や単元指導計画の交流を行う。
<p>その他の研究活動</p>	<p>○ 平成21年度府小研総合的な学習の時間教育研究大会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究協力校: 福知山市立上豊富小学校 ・南丹・船井支部より第1分科会「地域を題材にした探究的な学習の在り方」において実践発表を行う。実践発表者を南丹市立宮島小学校に決定した。